

残暑お見舞い申し上げます

6月定例会p2~4 臨時会p4 一般質問p5~9 委員会p10~11

由良町 
こんにちは!

議会です

発行/由良町議会 発行責任者/玉置 一郎
編集/議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL:0738-65-1100 FAX:0738-65-0226
E-mail:gikai@town.yura.lg.jp

令和5年6月定例会

[会期] 6月9日～15日

令和5年6月定例会は、6月9日から15日までの7日間の会期で開かれました。
 報告7件、条例一部改正2件、人事9件、補正予算2件の計20件の議案が提出され、
 すべて原案のとおり承認、可決、同意しました。
 一般質問は、5名の議員が登壇しました。

承認

令和5年度 一般会計補正予算（第1号）



由良小学校（給食の様子）

補正額 170万円増額

給食費相当保護者負担軽減助成金

給食費11か月分の無償化に伴い、
 学校給食に該当しない児童生徒
 （由良町立以外の小中学校等に在籍
 している等）の保護者に対して学校
 給食に要する経費相当額を補助する。

可決

令和5年度 一般会計補正予算（第3号）

増額補正の
 主なもの

補正総額 1億2,830万円増額

緊急対策工事	5,000万円
町営住宅補修工事	2,000万円
集会所補修工事	420万円
農地農業用施設災害復旧事業	3,100万円
公共土木施設災害復旧事業	2,100万円

緊急対策工事の早期実施を

問

民家から遠く、例えば白倉池付近の災害箇所では、池の管理や備長炭など、地場産業育成にも直結しているため、緊急対策工事費を使って早期に復旧されたい。（地域整備課長）

答

これは、二次災害防止のための緊急工事を行うための予算です。

重要度など優先すべきものはあるが、この緊急対策費を使って、できるだけ早期復旧に努めます。



令和5年度 一般会計補正予算（第2号）



補正総額 8,100 万円増額

増額補正の主なもの

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方給付金給付事業	3,295 万円
高校生・大学生等応援給付金給付事業	1,513 万円
低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金給付事業	300 万円
新型コロナウイルスワクチン予防接種事業	1,752 万円
鳥獣害防止対策事業	473 万円
観光施設整備事業	600 万円

高校生・大学生等応援給付金

問 高校生・大学生等応援給付金とは。

答 (総務政策課副課長)
16 歳から 25 歳の子どもを扶養する由良町在住の保護者に支給します。(子ども 1 人当たり 5 万円)



問 住所を移している大学生は対象となるのか。

答 (総務政策課副課長)
子どもの住所は支給要件には関係しないので、対象となります。

農林水産業費での職員任用について

問 農林水産業費で、会計年度任用職員の予算を計上しているが、どのような職員の任用を考えているのか。

答 (産業振興課長)
4 月から鳥獣被害対策として、集落支援員 1 名を任用し、主に見回り、追払い等を実施していますが、まだまだ不十分であることから 1 名増員し、今後は 2 名体制で連携して、捕獲に向けた取組等も実施していきます。



人事

監査委員

久世 修裕氏
三尾川 321 番地

農業委員

坂田 博美氏
門前 115 番地

松村 章弘氏
三尾川 284 番地

古曾 成樹氏
里 1078 番地

平林 孝郎氏
吹井 372 番地

清水 豊氏
衣奈 583 番地の 2

桶田 加奈子氏
阿戸 105 番地

岡 正樹氏
門前 298 番地の 1

小田 義文氏
畑 19 番地

同意

農業委員会の基礎知識

農地の確保と有効利用

農地の権利移動についての許可、農地転用申請書の受理や意見書の添付

農業の担い手の育成・確保

農業経営の法人化、複式簿記の記帳や青色申告等を通じて、担い手の育成・確保

農地等の利用の最適化に取り組めます

- ①担い手への農地利用の集積、集約化
- ②遊休農地の発生防止・解消
- ③新規参入の促進

地域の課題解決に向けて取り組めます

広く農業者の声をくみ上げ、関係行政機関等に対し、推進施策の改善について具体的な意見を提出

令和5年第2回臨時会 7月5日

可決

令和5年度 一般会計補正予算(第4号)

補正総額 4億2,800万円増額

農地等小規模災害復旧支援補助金
300万円

農地農業用施設災害復旧事業
1億3,500万円

公共土木施設災害復旧事業
2億9,000万円

衣奈～三尾川間 町道3-123号線
工事請負契約(橋脚2基分)

問 町民にとって、衣奈～三尾川間の町道拡幅工事は、関心が高い案件です。現在の進捗状況は。

答 【地域整備課長】平成27年度から着手し、延長約2Kmで、約3割程度の進捗です。



完成イメージ(町道3-123号線)

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は5名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下、その内容を要約してお知らせします。

問 台風の被災状況と今後の課題は

答 被害を整理した上で今後の対策を講じていく

問 6月2日の台風2号の影響に伴う線状降水帯による被災状況は。

答 【町長】 住家被害では、床上浸水が15棟、床下浸水が56棟の合わせて71棟、倉庫などの非住家被害が11棟、道路に関する被害が35件、農地等の被害が71件、河川の被害が32件、崖くずれ等の土砂災害が31件で、その他の被害等を加えますと計325件の被害の報告を受けています。

問 国・県に対してどのような要望活動をしているのか。

答 【町長】 災害発生後から、県との連絡を密に取り、由良川護岸が洗掘された箇所「大型土のう」を設置したり、民家の

背後で土石流が発生した現場で、迅速に対応して、町と県で復旧に向けた取り組みをしているところです。

問 今後、自主防災会などとの連携はどうするのか。

答 【町長】 町内19地区、17の自主防災会と連携して、被災前、被災中、被災後のことを整理した上で話し合いを行い、今後の対応、対策を講じていきます。

ふるさと納税について

問 寄附金額を増額するための対応策は。

答 【町長】 町内事業者の皆さまに対する制度の周知や新規登録を働きかけ、寄附金額の下限額の引き下げ、WEB広告の出稿によるPRに努めています。

年間多くの観光客が訪れる白崎海洋公園においてなど、当町に来訪される方が現地で寄附が行え、町内飲食店等で利用できるクーポン券を返礼品として、受け取れる仕組みを検討しています。



山口 太志
議員



土のう設置後（里地内）



被災直後（里地内）

問 由良川水系の防災強化を



野田 悟
議員

問 6月2日の大雨で、由良川水系が氾

濫し、農地、道路が水没しました。

国道まで土砂、木片が流れ出たところもあり、線路高架下の低い県道は水没し、通行できませんでした。

損壊したところを早急に直すことも重要ですが、破損した箇所が復旧が終わっても、氾濫の原因を調査し、同じことが起こらないようにすることが重要です。

田畑で浸水しやすい場所等を調査し、対策改善を行い、防災上強化された由良川水系を作っていたideきたい。

また、畑地区で線路下の県道が水没すること、県道水没時に、自宅に帰れる道路の設置が必要ではないと思います。



由良川被災（畑地内）



JR 高架下水没（畑地内）

答 できるところから随時部分改修

答 【町長】 JR高架下の水没につきま

しては、地形上、川の水位が増水しますと、道路からの排水効率が悪くなり、水が溜まってしまふというのが現状です。

これを解消するためには、線路よりも高い位置に道路を設置するしか方法がないため、対策を講じることは非常に難しいというのが現状です。

河川を全面改修する場合は、下流から施行するのが原則ですが、由良川の場合は、全面改修することが難しいため、できるところから随時部分改修などを実施していただいています。

里地区の床上浸水については、由良川が越水し、JRの線路があるため水が捌けにくく、新たな排水路を設置することも難しい状況です。

その他の質問
・マイナンバーカードを使った各種
証明書発行について



川出 純
議員

問 空き家バンクの登録件数は

問 由良町が作成した「由良町移住の招待状」を読ませていただきました。昨年度より移住が軌道に乗ってきたように感じますが、実績はどのようになっているのか。

答 【町長】 空き家バンク登録の進捗は和歌山県の空き家バンク登録サイトである「わかやま住まいのポータルサイト」において、現在17件が登録されています。

移住希望者から連絡をいただいた場合、移住に関する様々な相談事や空き家改修の補助制度や子育て支援制度等をワンストップで対応しています。

答 現在17件登録



マイナンバー保険証はどうなる

問 マイナンバーカードに保険証の情報を入れて入力した事例が全国で多数起こっています。

もし、入力ミスの保険証で医療機関へ受診した場合、無保険扱いとなる場合があります。

由良町では、マイナンバーカードを保険証として登録する際、どのように行っているのか。

答 【町長】 由良町では、マイナンバーカードを保険証として利用しようと登録する際、窓口において、パソコンでご本人にマイナンバーカードの暗証番号を入力していただき、職員がご本人確認をしながら保険証利用登録を行います。

その後、登録の完了した画面を確認していただいた上で、ログアウトをご本人の前で行うことを徹底しています。保険証の情報については、各保険組合の方で行われていますので、由良町では把握できていません。

その他の質問

・ヘルペスワクチンの接種に補助金を



問 白崎海洋公園の運営管理と今後について



三好 章五 議員

問 レストラン、産品販売、オートキャンプ場、ログハウスなど計画どおり円滑に運営ができていますか。

答 【町長】「スマイルプロジェクト」による指定管理業務が開始され、パークセンター内においての飲食並びに産品販売業務、また、ログハウスやキャンプ場の運営等、新しい事業者によりスタートしました。

オープン直前の3月末に公園のキャンプ場に落石があり、利用される観光客の皆様への安全確認を優先してオートキャンプ場を一部使用禁止としましたので、厳しいスタートになっていると思います。

答 町と指定管理者が協議し柔軟に対応

問 白崎海洋公園が由良町の観光地のシンボルということを見ると、無残なクラブハウスの現状では景観上の問題があり、何らかの具体的な対応を早急に検討してほしい。

答 【副町長】旧クラブハウスの建物は、平成30年に大きく被災して、令和3年度の当初予算において、解体撤去費用を予算計上しました。

しかしながら、経済的な効果、また財政状況を鑑みまして、一昨年の9月に撤去工事を見合わせるための補正予算を承認していたところでした。

町としても何らかの対応が必要というふうに認識しています。

問 今回の不可抗力による災害で、オートキャンプ場が一部使用できなくなり、指定管理者の収入面においても減収・減益が余儀なくされていると思う。協議のうえ柔軟な対応をお願いしたいと思うが。

答 【副町長】想定外のこと、基本協定にもありますが、できるだけ柔軟に対応しつつ、町とスマイルプロジェクトが、お互いに納得できる対応を考えていきたいと思えます。



仮設道（白崎海洋公園海側より）

問 公共施設の利用管理について

問 令和3年9月議会では、「行政コストを縮小、適正な規模の維持管理、有効活用を進めていきたい。また『公共施設等総合管理計画』は、令和4年3月に一部見直し、改訂する」との答弁でしたが、その後の措置状況は。

答 【町長】 改訂内容は、3つの基本方針のうち、施設総量の適正化において、売却・取壊し後の跡地活用の追記と、長期的な計画の適宜見直しを行い、財政負担の軽減・平準化、公共施設の適正な管理に努めていきたい。

問 例として、白崎小学校の利活用について、私は地域の方々が管理をして、進んで利用できれば良いと思うが。



三上 幸夫
議員

答 地域の皆様の意見をくみ取りより良い活用法を検討

子ども議会について

問 将来、議会や行政に興味を持ってもらえるように、子ども議会について開くことを提案します。

身近な問題から由良町のことを考えて、子ども議員から、より多くの質問を受けてほしい。

「ゆらっこ育成会」はどのような計画があるのか。

答 【教育課長】 ゆらっこ育成会とは、町内在住の小学校6年生から高校生までのジュニアリーダーが所属する団体の名称です。

地域の清掃などのボランティア活動や、由良町の産業や文化・歴史についての体験活動をしていて、それで得た知識や技術で地域に貢献することを目的としています。

令和5年の計画では、少年議会を立ち上げる予定で、小学校6年生から高校生までを対象として募集し、町内産業の施設や地域の方を講師に招いて学習会を予定しています。



旧白崎小学校

答 【総務政策課長】 廃校跡地利用については、周辺自治体などの事例を収集し、参考となる活用事例を研究しているところで、例えば、日高町などでは、プロポーザル方式により企業誘致し、地元の合意を得ながら廃校施設を活用されています。白崎小学校に限らず、地域の皆様方の意見を伺い、より良い活用を検討していきます。

産建厚生常任委員会

町内工事箇所視察（5月31日）



白崎海洋公園内（駐車場から）



白崎海洋公園内（落石箇所）



町道3-123号線 三尾川地内



只越配水池新設（1,600 t 水槽）

台風被害（6月2日）



排水機用発電機（門前地内）



水谷ため池（門前地内）

総務文教常任委員会

由良小学校通学バス視察（6月8日）



通学バス下車状況



通学バス下車状況

小中学校・こども園訪問（7月12日）



ゆらこども園（懇談）



由良小学校（家庭科実習）



由良小学校（タブレットの活用）



由良中学校（タブレットの活用）



由良町の癒しスポット



今回から、「こんにちは!議会です」の新しい特集記事として「由良町豆情報」をお届けします。

橋本市在住の東忠宏さんが、「由良町へ訪れる皆さんに町の魅力をPRしたい」と里地内の山中に「ゆらきやんぶ」を今年4月末にオープンしました。

現在、初心者向けプランが中心で、テントや焚き火台、チェア、テーブルなど食材以外の必要なものは東さんが用意してくれ、サポートもしてくれる「てぶらキャンプ」で自然を満喫できそうです。

東さんは、「魅力的な観光スポットや名物がありますので、由良町を盛り上げていければ」と地域活性にも貢献してくれそうです。

詳しくは、ホームページや地方紙をご覧ください。

ゆらきやんぶ

住所：〒649-1111 由良町里地内
 営業日：金、土、日、月、その他祝日
 （金はチェックイン、月はチェックアウト）
 営業時間：IN 12:00 / OUT 11:00
 H P : <https://www.yuracamp.com>



H P



議会広報編集委員会

委員長	三上 幸夫
副委員長	岩崎 清和
	山口 太志
	山本 大
	川出 純

編集後記

議会広報誌を発行することにあたり、私も議員として皆さんの仲間になり、精一杯仕事をさせていただきます。

先日は、未曾有の災害が起こり、議員一同大変心を痛めています。

まだまだ浅学な私ですが、一つ一つ皆さんのご意見を聞きながら、議員を続けられたらと思います。

(清)